

ひとつのはな #21

令和七年八月二十四日(日)十六時開演
十四世喜多六平太記念能楽堂

独吟 高砂 清水 義也(観世流)

独調 八島 謡 豊嶋 晃嗣(金剛流)
大鼓 柿原 孝則(高安流)

独鼓 羽衣 謡 小倉健太郎(宝生流)
太鼓 小寺真佐人(観世流)

独調 玉之段 謡 佐々木多門(喜多流)
小鼓 曾和伊喜夫(幸流)

— 休憩十五分 —

能(金春流)

融
クツロギ

シテ 山井 綱雄
ワキ 野口 能弘
アイ 三宅 右矩
笛 一噌 隆晴
小鼓 曾和 正博
大鼓 柿原 孝則
太鼓 小寺真佐人
後見 本田 芳樹
地頭 村岡 聖美
地謡 辻井 忍
井上 貴覚
本田 由樹
中村 昌弘
山井 綱大
岩間 啓一郎
立本 夏山

〈スマホ de 解説〉
日本語 葛野りさ(宝生流)
英語 武田伊左(宝生流)

十八時頃終演予定

開演後は見所(客席)を消灯いたしますのでご入退場できません。開演までのご着席にご協力をお願い申し上げます。

【チケット】*全指定席(税込)

令和7年5月23日(金)より発売開始

◇S席 11,000円

◇A席 8,800円

◇B席 6,600円

◇2階席 4,400円

— 以下、公式サイトのみで受付 —

◇特別指定席 13,200円

(お好きな席番をご指定いただけます)

◇同日開催「五流の愉しみvol.6(3,300円)」

とのセット割 1,000円引き

*座席表は発売日以降にお申込サイトでご確認をお願いいたします。

～能の流儀と曲の種類～

能には、シテ方、ワキ方、囃子方(笛、小鼓、大鼓、太鼓)、狂言方と、それぞれ専門の役があります。その各役に流儀があり、特にシテ(主役)や地謡を勤めるシテ方には五流あります。また、能楽の上演形態は、能、舞囃子、仕舞、独吟、独鼓/独調など、多様性に富んでいます。なお、演目は、五種類に分かれており、曲のテーマやシテの演じる役柄により、主に神・男・女・狂・鬼の五種に分類されています。この五種から一演目ずつ選び、一種の上演形態で構成された番組を「五番立て」と言います。この度の公演は、シテ方五流の出演、三種の上演形態、五種の演目とし、能楽の広さをお楽しみいただけるように企画いたしました。皆様お誘いあわせの上でお運びいただけましたら幸いです。

※演目の種類についての詳細は、ぜひ公式サイトをご訪問ください。

【お申込方法】

■公式サイト

<https://nohgaku-experience.com/aflower>



■カンフェティ

TEL 050-3092-0051

平日10～17時

*オペレーター対応



本公演は、能楽堂へ来場できない国内外のお客様に向けて、公演を生収録し、後日インターネットで配信しています。

◆客席に複数のカメラが入り、撮影をいたします。

◆上演中は客席の照明を暗くいたします。

◆開演後は客席へのご入退場ができなくなります。

世界中の一人でも多くの方に能楽をお楽しみいただけますよう、お客様には、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。



当日はロビーにて、開場～休憩まで、和の美味しい軽食とお飲み物の出店をいたします(アルコールを含む)。

＜スマホ de 解説＞

スマートフォンとイヤホンをご持参のお客様は、能楽師による生解説(日・英)を無料でお楽しみいただけます。

*iOS 16以降、Android 13以降を推奨

*お申し込み不要

*スマートフォンの貸出はありません。

*端末のバージョンおよび設定により、ご利用

できない場合があります。予めご了承ください。

ご提供：一般財団法人 衆我財団様



ひとつのはな

能楽の世界で大切にされている「はな」という言葉は、「魅力」と言う意味ともとれます。日本には、あふれるほどの文化の魅力が古より受け継がれ、今もお息づいています。能楽堂で観る能楽公演もそのひとつ。決して色褪せることのない、時空を超えた魅力を伝えてくれます。

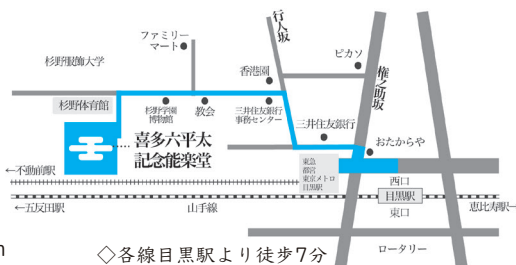
【会場】

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

【主催】株式会社Global能楽社

お問合せ aflower-info@nohaku-experience.com



◇各線目黒駅より徒歩7分